学校番号	3006

令和３年度　数学科

教科	数学科	科目	数学Ⅱ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	新数学Ⅱ　（実教出版）						
副教材等	ステージノート数学Ⅱ　（実教出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

基礎的な事項の学習を中心に授業を進めます。日々の授業を大切にして、ていねいに取り組むことを期待します。

2　学習の到達目標

基礎学力の定着を目指し、細かな理論よりも計算力を高めることを目標とします。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:数学的な見方や考え方	c:数学的な技能	d:知識・理解
観点の趣旨	・整式の除法を、既習の数の除法と同じように考えようとする。 ・円について、直線と同じように、方程式に表そうとする。 ・指数法則をもとにした指数の拡張を通して、数学的推論の仕方を実感する。	・整式の除法を、数の除法と関連づけて考えることができる。 ・方程式を用いて円と直線の位置関係について考察することができる。 ・指数の範囲を拡張することの意義や必要性を認識する。	・高次方程式を解くことができる。 ・与えられた条件から、円の方程式に表すことができる。 ・指数関数のグラフをかくことができる。	・高次方程式の解法を理解している。 ・円と直線の位置関係を、数学的に処理できることを理解している。 ・拡張された指数の意味を理解し、指数計算での指数法則の活用の仕方を理解している。
評価方法	授業態度から評価する。	提出課題から評価する。	提出課題 定期テストから評価する。	提出課題 定期テストから評価する。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	複素数と方程式	式の計算	○				a:乗法・除法・分数式の計算方法を知ろうとする。	定期テスト 提出課題 授業態度 等から評価する。
					○		c:計算が、正しくできるようになる。	
		複素数と2次方程式				○	d:すべての2次方程式が、2つの解を持つことを理解する	
						○	d:解と係数の関係を学ぶ	
						○	d:剰余定理・因数定理を理解する。	
		高次方程式			○		c:因数定理と整式の除法を用いて、因数分解し、高次方程式が解けるようになる。	
2学期	図形と方程式	点と座標	○				a:直線上の内分点・外分点を学ぶ	定期テスト 提出課題 授業態度 等から評価する。
			○				a:平面上の内分点・外分点を学ぶ。	
					○		c:正しく、それらを取ることができるようになる	
		直線の方程式	○				a:直線の方程式とはどんなものかを学び	
					○		c:直線の方程式が正しく作れるようになる。	
				○			b:2直線の関係が、正しく判断できるようになる。	
		円の方程式	○				a:円の方程式とはどんなものかを学ぶ	
					○		c:円の方程式が正しく作れるようになる。	
				○			b:円と直線の関係が、正しく判断できるようになる。	
		不等式の表す領域	○				a:領域とは何かを知る	
				○			b:領域が、正しく図示できるようになる。	
3学期	いろいろな関数	指数関数	○				a:指数の拡張を学ぶ。	定期テスト 提出課題 授業態度 等から評価する。
			○				a:指数関数とはどんなものかを知る	
					○		c:指数計算ができ、指数関数のグラフを正しく書けるようになる。	
		対数関数	○				a:対数とはどんな数かを学ぶ	
			○				a:対数関数とはどんなものか知る。	
					○		c:対数計算ができ、対数関数のグラフを正しく書けるようになる。	

※　表中の観点について　a：関心・意欲・態度　　b：数学的な見方や考え方
c：数学的な技能　　d：知識・理解

※　原則として一つの単元（教材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。